

水温リモート監視装置（ブイ式イー・モニター）

概要

- 養殖場が抱える大量へい死等の課題について、生理機能に影響が及ぶ環境因子(主に水温)を遠隔監視することで、防止活動を事前に見極められる装置を開発。
- 定置網などの漁撈設備にも取付が可能であり、これにより、回遊魚等の移動を推測することも可能。
- 急潮による水没に備えて筐体は50m水深まで耐圧性能を高めており、海況改善時に没水時のデータも配信。
- データはスマートフォンで管理・確認が可能。
- 太陽電池、電圧の自動監視機能・休眠・再開機能を搭載。
- 好評販売中。通信環境の進化に伴い、LPWAやアドホック通信も可能となるよう研究や実証試験適宜継続中。

導入効果

- 本システムの導入により、養殖貝類の適温深度を常時把握。
- 取得情報を基に、作業現場到着前に作業計画を立てられるので燃油と作業時間が節約。
- さらに、環境データを公開することにより、健全化をPRでき、生産物の品質向上や収益の向上も可能。



○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	養殖業（2）生産
技術ニーズ	海洋データ把握
具体的なニーズの内容	水温、塩分、溶存酸素、水深、流向・流速等を把握するリアルタイム配信システムの開発

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

📍連絡先

日油技研工業（株） 機器グループ
 TEL: 03-3986-5222
<https://www.nichigi.co.jp/ocean-g@nichigi.co.jp>



お問い合わせフォーム

情報記載日：2019年11月29日

写真左：ブイ式イー・モニター設置風景



下図：貝類養殖施設への取付事例

